

★病気や障害のある子ども達と家族が、いつでも好きな時に訪れて自然を楽しむ

★レスパイト施設★

あおぞら共和国



家族みんなで
自然の中で
過ごしたい！

車いすでも
ダイジョウブ
かなあ…

気兼ねなく
過ごせる
場所がほしいね…

他の宿泊客からの
心無い言葉が…

周囲に
迷惑をかけない
かなあ…

だから、
みんなの別荘
なんだね！

安心して
過ごせる
だろうか…




原因が分からなかったり治療法が未確立、あるいは経過が慢性にわたるいわゆる小児の難病は700種類を超え、全国で25万人以上の子ども達が難病とたたかっています。

これらの子どもや家族は、医療の面だけでなく、教育の場面でも福祉の場面でも、あるいは社会生活の場面でも様々なハードルにぶつかります。治療の選択や教育、日々の暮らしで出会う問題など、多様で複雑でかつ専門的なこれらのハードルを、ひとりだけの家族の力で乗り越えるのにはとても大きな困難が伴います。

難病のことも支援全国ネットワークでは、そうした子ども達と家族、それを支える様々な立場の人々とともにネットワークづくりを目指します。そしてその目的のために、いろいろな分野で子ども達と家族のQOLを高める活動を進めてきました。

相談活動

- 電話相談室 

月～金 11:00～15:00
TEL03-5840-5973
- 遺伝(先天異常)特別相談(沼部博直先生)

月に1度 日程は事前にお問い合わせ下さい。
- 遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリング

毎月第1・3水曜日 11:00～15:00
TEL080-8498-9488
- ピアサポート活動

国立成育医療研究センター、神奈川県立子ども医療センター、都立小児総合医療センターにて実施中。

社会啓発活動

- ボランティア養成

プレイリーダー養成講座の開催、活動支援。
- シンポジウム・セミナー等開催

こどもの難病シンポジウム、病弱教育セミナー等。
- 広報活動

機関誌の発行、出版。
ホームページの開設。
- サンタクローズの病院訪問。



交流活動

- サマーキャンプ“がんばれ共和国”

北海道、宮城県、神奈川県、静岡県、愛知県、兵庫県、熊本県、沖縄県の各地で開催。
- 親の会活動支援

親の会連絡会、研修会、広報活動、助成活動など。



みんなのふるさと“夢”プロジェクト

- 山梨県北杜市に“あおぞら共和国”を建設中。

篤志家のご好意により、山梨県北杜市の自然がいっぱいあふれた土地をご寄附いただき、難病の子どもと家族のための、レスパイト施設“あおぞら共和国”を建設しています。みんながいつでも好きな時に集まり、交流したり研修したりする、“ふるさと空間”を、みんなで作ります。2015年7月現在、1号、2号ロッジ、お風呂棟が完成し利用受付中。9月には4号ロッジ完成予定。すでに多くのお友だち、家族の利用があり、レスパイト施設として始動しております。ひとり一人の顔の見えるふるさと“あおぞら共和国”作りにご参加ください。

<http://www.nanbyonet.or.jp>

みんなのふるさと
夢プロジェクト

あおぞら共和国

ご寄付をお願いします

※税制の優遇措置を受けられます。

- 振替用紙の用意がございます。
口座記号番号:00140-5-472963
みんなのふるさと夢プロジェクト
ミンナノフルサトユメプロジェクト

募金箱を置いて、
応援して下さい。



募金箱

(詳しくは事務局にお問い合わせください。)

難病や障害のある子ども達と家族がいつでも好きな時に訪れて
自然を楽しむ…それがレスパイト施設“あおぞら共和国”です。

山梨県北杜市の白州に、八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳など
雄大な自然に囲まれた風光明媚な土地の寄進を受け、
「みんなのふるさと“夢”プロジェクトとして活動を始めました。

そしてみんなの夢が実を結び、ついに2014年6月、
1号ロッジのオープン引き続き2号ロッジの建設お風呂棟も完成。

2015年9月には4号ロッジも完成し、
待ちに待ったレスパイト施設としての利用が始まっています。

所在地：山梨県北杜市白州町鳥原

敷地：約3,000坪

■基本的な考え方

みんな一緒…みんながそれぞれの故郷として、いつでも集まれる場。

環境教育…自然と触れ合い、大地を実感できる場。

研修・交流…家族・関係者が研修や体験したりする場。

安心と安全…医療のサポートを受けながら、数日間を過ごせる場。(予定)

レスパイト…家族だけで気がねなく過ごせる場。

■施設(風力発電、太陽熱利用、雨水の再利用などエコシステムを導入)

センター棟…事務所、食堂兼研修室、会議室、診療所(予定)、天文台、管理室。

宿泊棟…80~100名

お風呂棟…2棟

中央広場…イベント広場、ステージ。

広場…花壇、池。※植林体験。

駐車場…10台程度。

■スケジュール

2011.7……「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」発足。

2012.9……開発申請。

2013.3……伐採、造成。

2013.9……1号ロッジ建設開始。

2014.6……1号ロッジオープン。2号ロッジ建設開始。

2015.9……4号ロッジ竣工。以降、順次建設。

あおぞら共和国

- 所在地：山梨県北杜市白州町鳥原字向林
- 交通のご案内：
 - ・JR中央本線「小淵沢駅」よりタクシーで約10分
 - ・中央自動車道「小淵沢IC」より車で約15分

Googleで検索を!

あおぞら共和国



＊レスパイト施設＊

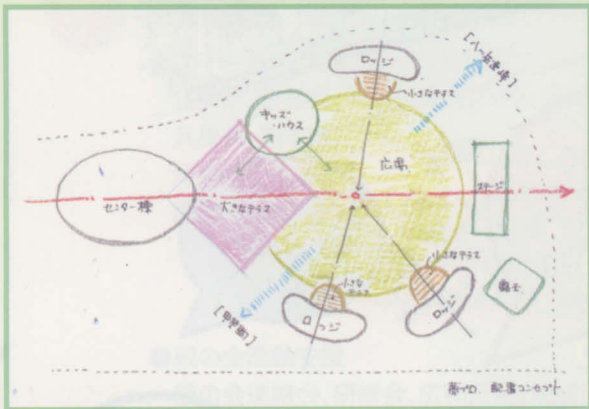
あおぞら共和国

皆さんのお

「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」から生まれました。
子どもと家族が仲間や専門家と研修などを体験するとともに、
みんながいつでも集まり共通の時間を過ごせるふるさと…
これが、レスパイト施設“あおぞら共和国”です。

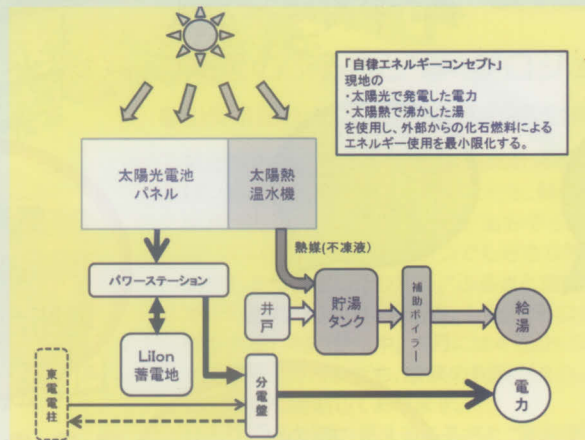
難病や障害のある子どもときょうだいが中心、家族が安心して過ごせる、
地域に開かれた場所。

子どもたちが自由に駆け回る大きな広場、『小さなテラス』をもったロッジ群と『大きなテラス』をもったセンター棟、そしてキッズハウスが広場を囲みます。たとえロッジから出なくても、みんな一緒。ロッジ(屋内)→テラス(半戸外)→広場(屋外)とつながる空間は、季節を楽しみ、みんなの気配を感じます。広場の先はステージ。そして露天風呂、せせらぎ、ジャブジャブ池、洞窟探検と夢はつきません。



この自然の中では、環境に優しいエネルギーを使います。

白州に燦々と降り注ぐ太陽のエネルギーを、電気と温水に変えて使うシステムです。蓄電池や温水タンクを備え、太陽光で発電した電気は、Li-Ion (リチウムイオン) 電池に蓄電。余剰電気は電力会社に供給し、不足分を買うことで、年間約1トンのCO₂削減が図れます。蓄電池は停電時の備えにもなります。温水は効率的のよい、補助ボイラー付きの太陽熱温水器を選びました。



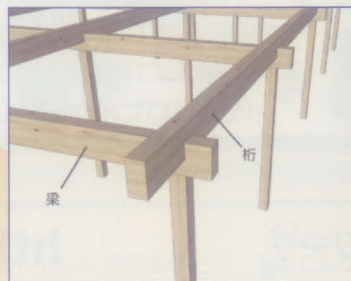
土地DNAを大切に。

土を外に持ち出さな、持ち込まない。雑草の種も、モグラもそのまま。伐採した樹木は建築資材の一部に、根・枝はチップとして活用。建設残土等のトラブルは、一切ありません。雨水も、敷地から出さず地下埋め込み調整池と防火水槽を設置、将来は再利用も。電線・電話線などは全て埋め込み、豊かな自然環境を大切に、そして土地のDNAを大切に、レスパイト施設“あおぞら共和国”を作ります。



地元の木材を活かし、昔からの工法で。

建築には、昔から伝わる和小屋組みの一種『折置き組』を採用しました。また、昔から一番いい家の作り方は、家を建てる土地の近い山から材を切り出しその土地の気候・日当たりになじんでいる木を使うと言います。この土地はもともと赤松林で、造成時に伐採した赤松を製材、乾燥、その一部を使いました。この土地の気候に一番適した、しっかりとした家ができました。



ご寄付により設置いたしました

エネルギーシステム

公益財団法人
24時間テレビ
チャリティ委員

最初に完

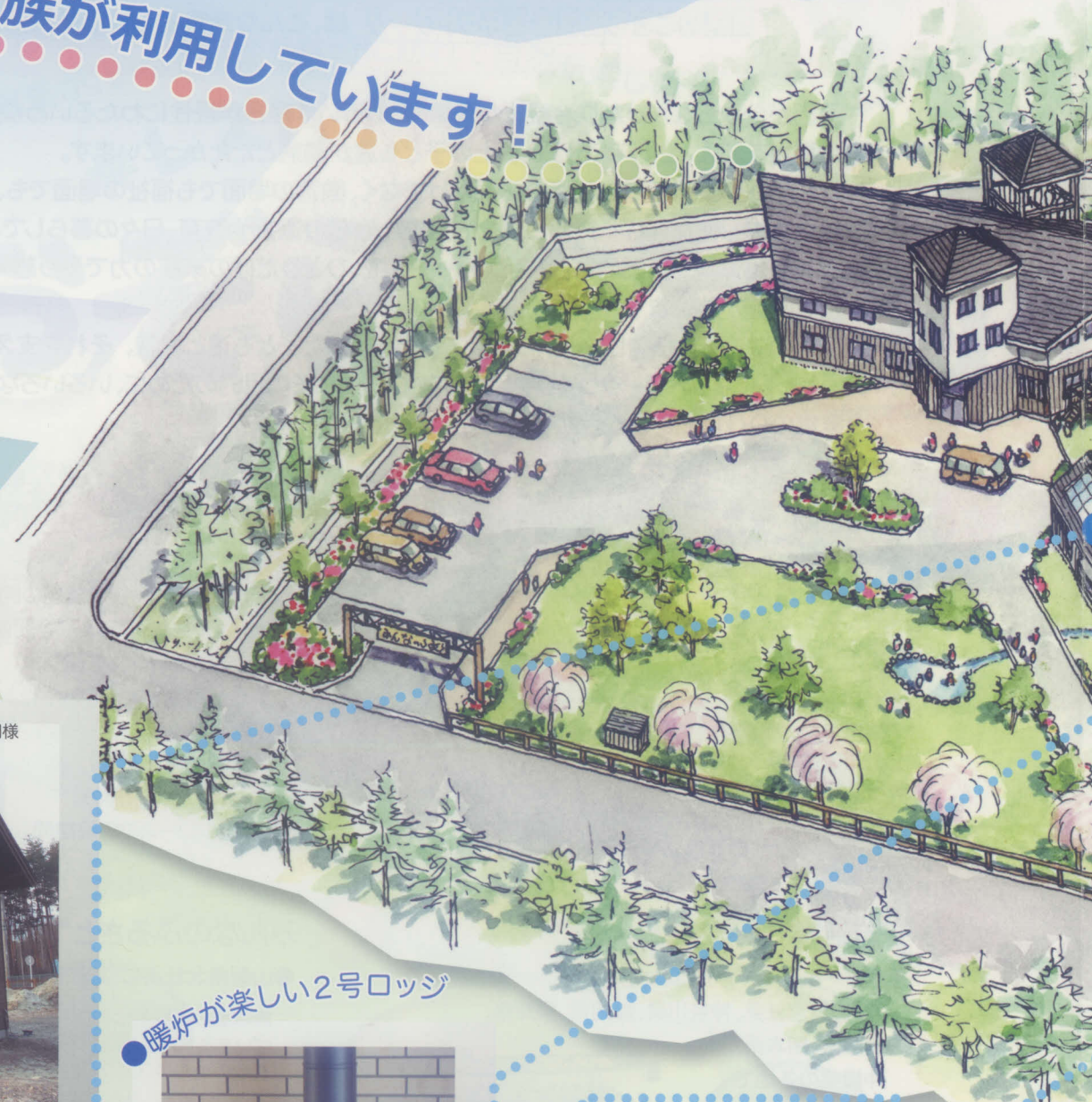


ご寄付により建設いたしました

2号ロッジ

FIT チャリティ
(Financial Industry in
For Charity Run)

友だち、ご家族が利用しています!



●ご寄付により
建設いたしました

1号ロッジ

成、1号ロッジ

一般財団法人
日本メイスン財団様



●暖炉が楽しい2号ロッジ



●ご寄付により
建設いたします

3号ロッジ

Tooth Fairy
(日本歯科医師会様 ×
日本財団様)



●間もなく完成、4号ロッジ

●ご寄付により
建設いたしました

4号ロッジ

ザ・レジェンド・チャリティ
プロアマトーナメント様





●ご寄付により
給湯システムを設置
いたしました

お風呂棟

公益財団法人
24時間テレビ
チャリティ委員会様



●大きなお風呂でゆっくりと!



難病の子どもたちのために あおぞら共和国を支援しよう!

甲斐駒ヶ岳の麓に子どもたちの笑い声を響かせよう。

キャンプ場(レスパイト施設)「あおぞら共和国」の利用者は8,000名以上!

甲府中学・甲府一高同窓生の皆様に、長年ご寄付のお願いをしてきました「みんなのふるさと夢プロジェクト」(難病の子どもたちのためのキャンプ場(山梨県北杜市白州町一レスパイト施設)の建設)も、おかげさまで順調に進行し、最大60名宿泊できるロッジ5棟のほか、野外ステージ、Kid's Box(子どもたちのプレイルーム)と整備が進み、みんなが集まるスペースとして交流棟同窓生の皆様より多くのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。利用者は、延べ8,000名に達しています。これまで一般の宿泊施設に泊まることができなかった難病の子どもたち、そしてその姉妹・兄弟のたくさんの笑顔を見ることができました。しかし、まだまだ全体の完成や今後の運営には多額の費用が必要となります。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

あおぞら共和国感謝の集い 11月18日(土)

あおぞら共和国に集まりましょう。甲府一高あおぞら会の活動報告、あおぞら共和国施設の見学、懇親会など・・・お申し込みは3ページをご覧ください。



甲府一高あおぞら会 会員募集!!

外の世界を知らない難病の子どもたちを、自然の中に連れ出すお手伝いをしています。

“甲府一高あおぞら会”は、このプロジェクトの理念に共感する甲府一高同窓生を中心とした集まりです。認定NPO法人難病の子ども支援全国ネットワークが主催している「みんなのふるさと夢プロジェクト(あおぞら共和国の建設・運営)」を支援しています。会長はS45年卒の露木和雄(副会長:軽石泰孝、事務局:山本秀彦)、年会費は3,000円です。草刈りなどの各種イベントのお手伝いを行っております。今年は11月に「会員の集い」をあおぞら共和国で計画しています。ただいま会員を募集しております。

甲府一高同窓生以外の方も入会大歓迎!年齢制限もありません。ご家族、ご友人もぜひお誘いください。

お申し込みは2ページをご覧ください。

たくさんのいろいろな団体が主催するイベントが催されるようになり、大勢のグループでの合宿も多くなりました。



甲府一高あおぞら会 入会申込書

この用紙を切り取って、ご記入の上ご提出願います。fax(042-786-4132)

ふりがな

お名前

連絡先

〒

-

電話番号

-

-

携帯番号

-

-

E-mail

@

甲府一高卒業年

昭和

年

or 平成

年

甲府一高卒ではない()

本会紹介者 / 本会を知った機会

通信欄・質問事項等

甲府一高あおぞら会 入会お申し込み、「あおぞら共和国感謝の集い」案内と参加申し込みは、この用紙を切ってfax、ご郵送の場合は、この用紙(できればコピーして)を封筒に入れてお送りください。

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会行

FAX 042-786-4132 事務局メールアドレス aozora@ymkp.net



← 甲府一高あおぞら会の

ホームページ

<https://www.ymkp.net/aozora/>

からもお申し込みができます。

facebook→



甲府一高あおぞら会では、お預かりしました個人情報個人情報は適切な方法で管理し、本会の目的であるあおぞら共和国の支援と甲府一高及び、その同窓会との情報共有の範囲内でのみ利用するものとします。

「あおぞら共和国物語」発行!



「あおぞら共和国物語」の紹介

甲府中学・甲府一高同窓生の皆様に、長年ご寄付のお願いをしてきました「みんなのふるさと夢プロジェクト」(難病の子どもたちのためのキャンプ場「あおぞら共和国」建設)が発足して10周年を記念し、昨年7月に小口弘毅(小児科開業医、甲府一高あおぞら会実行委員)が編纂を行い、あおぞら共和国の建設経緯について書き記した「あおぞら共和国物語」(B5版120ページ)が発行されました。それを電子ブック化しておぐちこどもクリニックホームページの“クリニック文庫”↓に掲載しておりますので、是非閲覧してください。



<http://oguchi-ped.cside.com/library.html> →

(電子ブック化は現在進行中)

← 甲府一高あおぞら会のホームページからもリンクしています。



〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台 1-7-7 おぐちこどもクリニック内

甲府一高あおぞら会 会長 露木 和雄

TEL:042-786-4150 FAX:042-786-4132 事務局 mail:aozora@ymkp.net

ホームページ: <https://ymkp.net/aozora/> Facebook: (甲府一高あおぞら会) 【検索】